

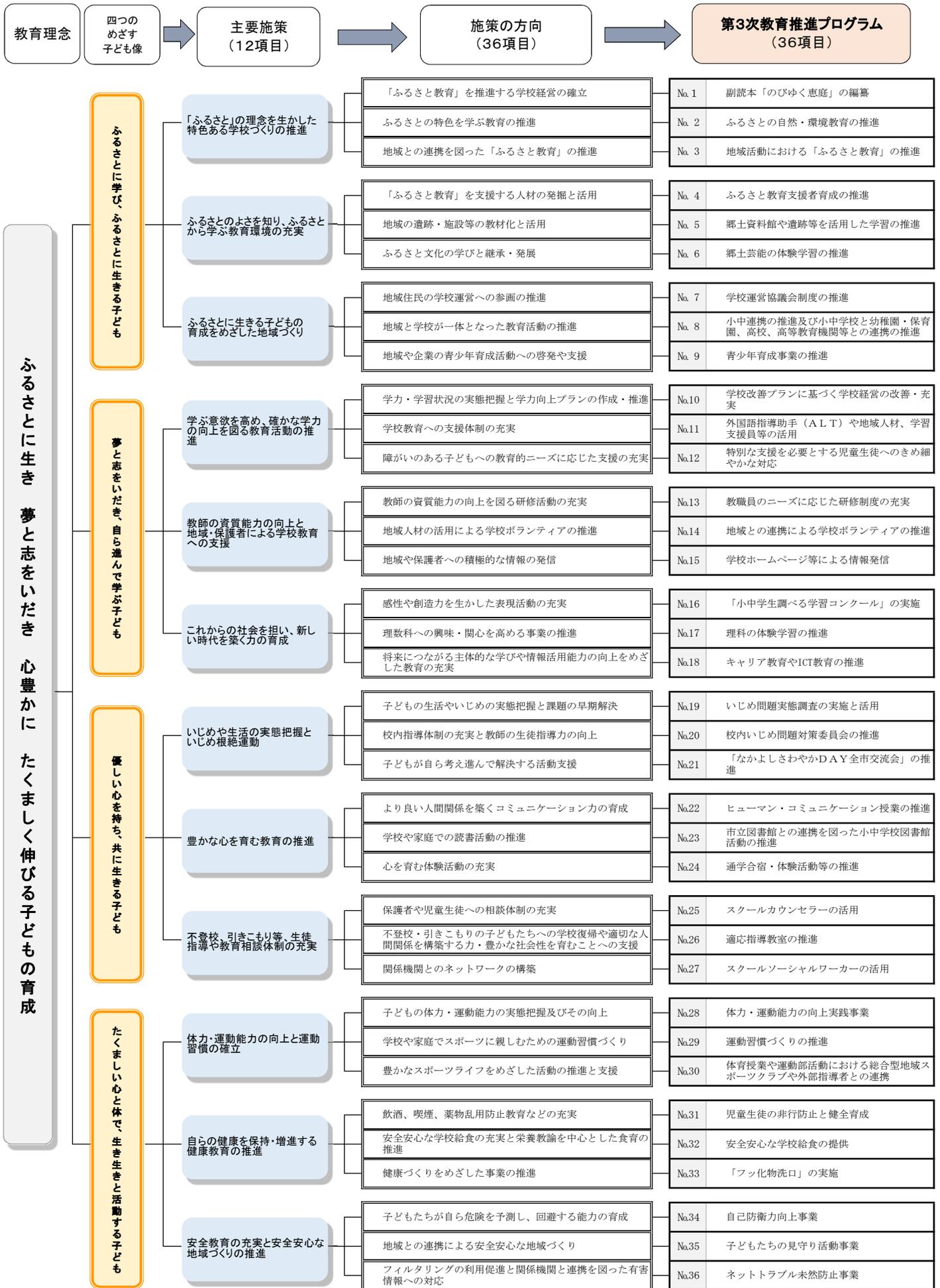
恵庭市学校教育基本方針

第 3 次 教 育 推 進 プ ロ グ ラ ム **(令 和 3 年 度 ～ 令 和 7 年 度)**

令 和 3 年 4 月

恵 庭 市 教 育 委 員 会

恵庭市学校教育基本方針体系図



シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	I	A	1	IV	16	1
事業目標	恵庭の歴史や産業、くらし等を学ぶための副読本を作成し、ふるさとへの興味関心を高め、ふるさとを愛する心を育成する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 副読本編纂委員会を設置し、教科書の採択に対応して改訂。 副読本「のびゆく恵庭」の改訂版を編集発行。 小学校第3・第4学年の社会の授業等で学習資料として活用。 					
事業推進による効果	「ふるさと教育」の推進にあたり、具体的な恵庭市の歴史や産業、くらし等についてまとめた副読本を活用することで、郷土愛が一層深まることが期待できる。					
事業推進上の課題	新たな情報を学校に適宜提供し活用していくことが課題である。また、編纂にあたり、教職員および事務局の作業負担が大きい。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	【14訂版】 修正内容検討 印刷	【改編14訂版】 編纂作業 ※大規模編纂作業 前年度であり 次年度体制の検討	【改編14訂版】 編纂作業 テスト作成 印刷 ※大規模編纂作業 体制整備	【改編14訂版】 ワークシート作成	【15訂版】 編纂作業	
特記事項	<p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 14訂版（令和2年度より使用） 14改訂版（令和6年度より使用） 15訂版（令和10年度より使用） ～編纂は4年サイクルで実施。 <p>【配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 編纂にあたっては、市民の意見も参考としながら、副読本の改訂を行う。 					
令和7年度末までの具体目標	14改訂版は、令和5年度に印刷し、令和6年度に使用開始する。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	I	A	2	IV	16	1
事業目標	ふるさと教育の充実のため、自然や環境など、ふるさとの特色を学ぶ教育の推進を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・花植え、清掃活動、河川に親しむ活動。 ・環境に関する教育。 ・「ふるさと景観絵画コンクール」の実施。 					
事業推進による効果	身近なふるさとの自然を通じた教育活動により、環境に関する理解が深まるとともに、ふるさとの特色を学ぶ機会を創出する。					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育を地域の特色や学校施設に合わせて、指導方法等を工夫する必要がある。 ・総合学習等の限られた時数の中で、活動時間を確保しなければならない。 					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	花植え、ゴミ拾い、河川に親しむ活動	継続				
	自然と触れ合う活動を通じた環境教育	継続				
	「ふるさと景観絵画コンクール」の開催	継続				
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	地域資源を活用した「ふるさと教育」の実践を図り、SDGs（持続可能な開発目標）でも挙げられている環境問題について、より深い学びを実現する。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	I	A	3	IV	16	1
事業目標	地域に根ざし地域に開かれた学校づくりを推進し、地域と協働で活動に取り組むことにより、子どもたちのふるさとに対する理解を深め、ふるさとを愛する心を育成する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵庭市総合計画や恵庭市学校教育基本方針等に基づき、ふるさと教育コーディネーターを中心に教育活動を実践。 ・ 各学校で、地域人材を活用した教育活動を実践。 ・ 学校運営協議会等を活用しながら、町内会等と連携機会を増やし、地域に密着した取組を推進。 ・ 花のまちづくりなど、地域の特色ある学習を推進。 					
事業推進による効果	町内会をはじめとした地域団体と連携することにより、地域とのつながりが広まり、子どもたちのふるさとへの意識の定着が図られる。					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動を行う上で、地域、指導者との連携が課題である。 ・ 事業が形骸化しないよう、子どもたちが主体的に地域活動に参加できる工夫をしていくことが課題がある。 					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 地域活動におけるふるさと教育の強化、推進 ふるさと教育コーディネーターを中心とした学校活動推進 </div> 					
特記事項	【地域活動等の取組例】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「花壇コンクール」の実施 ・ サケの放流事業の実施 ・ 市内企業の社会科見学等の実施 ・ 地域行事「しままつ鳴子まつり」等への参加推進 					
令和7年度末までの具体目標	ふるさと教育コーディネーターを中心とした「ふるさと教育」の推進や、地域の行事等への参加推進により、ふるさとを通じた学びを深め、地域への理解を促す。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	I	B	1	IV	17	1
事業目標	地域に根ざした郷土学習・体験学習の実施・指導の支援者を育成する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした体験学習の開催と支援者の確保育成。 ・郷土資料館に郷土学習のために訪れる団体見学の小学生への対応支援者の育成。 					
事業推進による効果	次世代を担う小中学生に対し、地域に根ざした郷土学習を地域住民の支援を受けて行うことにより、「ふるさと恵庭」への関心をより深めていただくことが期待できる。					
事業推進上の課題	支援者の確保・育成方法や、無理のない段階的な事前学習を行う必要があることが課題である。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	ボランティアへの提案・公募・事前学習会の開催	① 体験学習の企画・実践 ② ふるさと散歩見学会実践	① 体験学習の企画・実践 ② ふるさと散歩見学会・団体見学対応の実践	① 体験学習の企画・実践 ② ふるさと散歩見学会・団体見学対応の実践	① 体験学習の企画・実践 ② ふるさと散歩見学会・団体見学対応の実践	
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	地域住民の支援を受けて事業を実施することにより支援者、事業参加者双方とも「ふるさと恵庭」への関心を深めていただくことが期待できる。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	I	B	2	IV	17	2
事業目標	全ての市民が生涯を通じて恵庭の歴史や自然を学習できる機会を提供する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料館において展示解説・各種観察会等の実施。 小学校に昔の道具を届ける「ふるさと宅配事業」など、資料館外でも学習の機会を提供。 遺跡を活用した展示や講演会等の実施。 					
事業推進による効果	市民の方が恵庭の歴史や自然を深く知り、郷土への愛着を涵養することで、恵庭に居住することへの満足度を高める効果が期待できる。					
事業推進上の課題						
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	歴史・自然学習の実施	歴史・自然学習の実施	歴史・自然学習の実施	歴史・自然学習の実施	歴史・自然学習の実施	歴史・自然学習の実施
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	郷土資料館の入館者増と史跡カリンバ遺跡の整備推進につなげる。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	I	B	3	IV	17	1
事業目標	「すずらん踊り」「恵庭岳太鼓」をはじめとする郷土芸能の伝承発展に努め、ふるさとを愛する心を培う。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域に伝統芸能の指導者を派遣し、郷土芸能を紹介・普及。 ・体験事業や総合的な学習の時間、運動会等の学校行事を活用した体験学習の推進。 					
事業推進による効果	郷土芸能を体験したり、理解することから、郷土芸能に込められた想いに触れ、郷土愛の育成・愛着につながっていくことが期待できる。					
事業推進上の課題	各保存会の存続に向けた組織強化への継続的支援及び、子ども達や地域の大人達が郷土芸能にふれあう機会の拡充に向けて、郷土芸能の更なるPRと理解を深めるための情報提供の形態の工夫。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	指導者派遣 (随時)	継続				
	学校行事他 イベント出演 (随時)	継続				
特記事項	<p>【実施内容】恵庭の郷土芸能である「すずらん踊り」「恵庭岳太鼓」の各保存会から指導者を学校に派遣するとともに、総合的な学習の時間、学校行事、クラブ活動等を活用した郷土芸能体験と学習を実施。</p> <p>【令和元年度】・すずらん踊り：小学校4校、中学校1校へ派遣。 ・恵庭岳太鼓：小学校1校へ派遣。</p> <p>【令和2年度】・市のホームページにて郷土芸能の紹介 ・すずらん踊り：小学校2校へ派遣。</p>					
令和7年度末までの具体目標	各小学校区において、郷土芸能への取組を目指す。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	I	C	1	IV	15・16	
事業目標	保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」を目指す。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域住民が学校運営基本方針を承認。 ・学校運営について教育委員会や校長に意見を述べるができる。 ・教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べるができる。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との組織的・継続的な体制が構築できる。 ・子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有できる。 ・学校や子どもたちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、役割分担をもって連携・協働による取組ができる。 					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の高齢化 ・地域連携に関する組織体制づくり ・地域住民や保護者への取組に対する周知 					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px;"> 島松小・恵み野小・恵北中・恵み野中に設置 →市内全校に設置完了 </div>					
<div style="border: 2px solid orange; width: 100%; height: 20px; margin-top: 10px; position: relative;"> ➤ </div> 継続(全校で活動を展開)						
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との組織的・継続的な体制の構築 ・地域人材を活用した教育活動の更なる充実 					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	I	C	2	IV	16	2
事業目標	小中連携教育の推進や、市内の幼稚園・保育園、高校、高等教育機関等との連携を目指す。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携教育推進委員会の開催。 ・スタート・カリキュラムを取り入れた教育課程の編成。 ・「幼保小」連携に係る取組の推進。 ・高校や高等教育機関等との連携による教育活動の推進。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼保小」及び小中学校の連携により、就学や進学のスームズな接続 ・就学や進学に伴う子どもたちの不安軽減や、学習意欲及び理解度の向上 ・地域の高校や高等教育機関等との連携により、授業への支援や進学にあたっての意識の醸成 					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育機関や学校間での情報共有における個人情報の取扱い ・連携に伴う各機関のニーズの把握 ・連携を推進するための人的資源の確保 					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	小中連携教育推進委員会の開催	継続				
	「幼保小」連携の推進	継続(ニーズの把握、取組の検討)				
	高校や高等教育機関との連携の推進	継続				
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携教育推進委員会の開催を継続し、学校間における一貫性のある教育を実現することで、子どもたちの意欲的な学びにつなげる。 ・「幼保小」連携により、幼稚園や保育施設等で取り組む教育の改善を働きかけ、いわゆる「小1プロブレム」の解消を目指す。 					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	II	A	1	IV	16	2
事業目標	学校改善プランに基づく学校経営の改善・充実を図り、児童生徒の基礎学力の定着と向上を目指す。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委や各学校の学力向上の取組を交流し、今後の課題や改善策を協議。 ・指導方法、授業内容の改善について、学力向上アドバイザーによる指導・助言。 ・学力・体力向上推進会議を開催し、専門的な意見を取り入れ、学力向上につなげる。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校改善プランに基づく適切な目標設定により、学力の向上を図ることができる。 ・学力向上アドバイザー等による指導・助言を参考に、指導体制の工夫を図ることができる。 ・外部の方の意見を聞くことで、多面的な視点で指導の改善を図ることができる。 					
事業推進上の課題	学校の学習成果を図るため、自主的な家庭学習の定着が課題である。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	各学校での学校改善プランの作成	→ 継続				
	学力向上アドバイザーによる指導・助言	→ 継続				
	学力・体力向上推進会議の開催	→ 継続				
特記事項	学校改善プランに、各学校の到達目標を明記する。					
令和7年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・NRTや全国学力学習状況調査において、各学校が定める到達目標を達成し、実施結果を活用して学力向上に繋げる ・GIGAスクール構想を踏まえたICT活用、学習指導要領に準じた実践研究を行い、授業改善を図る。 					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	II	A	2	IV	16	2
事業目標	外国語科・外国語活動におけるALTや外部人材、専科教員等の適正配置や、学習支援員等の活用により、児童生徒の学力の向上を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教育において、ネイティブ・スピーカー（ALT）や英語が堪能な地域人材を活用した指導体制や指導方法を工夫して英語教育の充実。 ・学習支援員等において、児童生徒の個に応じたきめ細やかな指導を行うため、習熟度別少人数指導やTT（チーム・ティーチング）による指導の充実。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が生きた英語に触れる機会の充実 ・児童生徒の異文化に対する理解の促進 ・個に応じた指導の充実 					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な人材の確保 ・北海道教育委員会との配置調整 					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	ALT・外部人材の配置	→ 継続				
	学習支援員等の配置	→ 継続				
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が生きた英語に触れる機会を充実させ、聞くこと・話すことの活動を通じて英語力を高め、コミュニケーションを図る意欲を高める。 ・学習支援員の配置により、特に学力下位層の引き上げを図る。 ・教員の専門的な業務以外の負担軽減を図り、指導に充てる時間を確保することにより、指導の充実を図る。 					

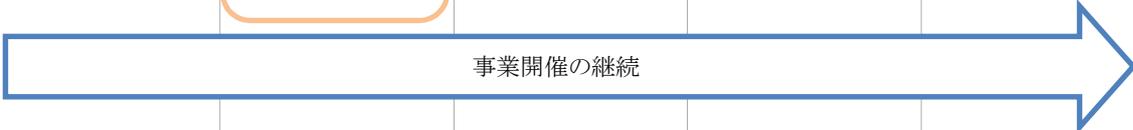
シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	II	A	3	IV	16	2
事業目標	障がいや発達に心配のある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターと連携し、個別の指導計画に基づいた指導。 ・幼保・小・中の連携を強化し、情報を共有することで、一貫したきめ細やかな指導。 ・補助員の配置基準の見直し、適正配置。 ・通級指導教室の運営を検証。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの理念に基いた学校教育を推進することが期待できる。 ・障がいや発達に心配のある児童生徒一人ひとりの自立や学力の向上が期待できる。 					
事業推進上の課題	補助員の効果的な配置や勤務形態等について、工夫することが課題である。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">発達障がい通級指導教室の検証・改善</div>					
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">補助員の配置基準の見直し</div>					
特記事項	<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター28名(各学校が指定) ・特別支援学級補助員 15名 ・特別支援教育学校補助員 20名 <p>【H28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏小学校に発達障がい通級指導教室開設 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和光小学校に発達障がい通級指導教室開設 					
令和7年度末までの具体目標	発達障がいにかかる通級指導教室の運営について、検証し改善・充実を図る。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	II	B	1	IV	16	2
事業目標	教職員のニーズを反映した各種研修を通して、教職員の資質向上を図る。					
事業概要	夏季・冬季休業期間に、学校を取り巻く様々な課題に即した研修を実施。					
事業推進による効果	教職員の資質が向上することにより、学習指導や生徒指導等、教育活動の改善が期待できる。					
事業推進上の課題	長期休業期間中のため、他の研修との日程調整や参加しやすい実施方法の工夫					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 恵教研と連携し セミナーの内容 を検討、決定  ・サマーセミナーの実施 ・ウインターセミナーの実施 </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 継続 </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 各種教職員研修(必要に応じて実施) </div>					
特記事項	【研修内容の例】 ・ふるさと教育、ICTを活用した授業づくり等 ※その他道実施研修事業の受講勧奨					
令和7年度末までの具体目標	教職員のニーズや今日的課題に応じた魅力のある研修を開催し、参加率を高める。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅱ	B	2	Ⅳ	15	2
事業目標	地域に居住する学習指導が可能な人材の活用により、児童生徒に対する学習支援を推進し、学力向上につなげるとともに、児童生徒が自主的に学校図書館を活用し、読書に親しむことができるよう、学校図書館を支え、子どもたちに読書の楽しさを伝えるボランティア活動を推進する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの学習支援による「土曜スクール」や放課後学習会、長期休業期間中における学習会などの実施。 ・図書館ボランティアによる読み聞かせや読書会の実施、室内の装飾や図書の修理。 ・読書週間などでのイベントの開催。 ・各校ボランティアとの交流。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ボランティアの指導による児童生徒の学力向上推進 ・図書館ボランティアの活動による児童生徒の読書習慣の定着推進 					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアで指導できる地域人材の確保 ・読み聞かせボランティアの育成 					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	ボランティアによる学習支援 	継続				
	ボランティアによる読み聞かせ等の実施 	継続				
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	ボランティアによる学習支援や図書館活動への参加者の増加					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅱ	B	3	Ⅳ	16	2
事業目標	学校の教育活動をホームページ等により積極的に公開することにより、学校教育に関する一層の理解を図り、地域に開かれた学校づくりを推進する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動への理解や関心を高めるよう、積極的な活動内容の周知。 学校活動にかかる情報を、学校ホームページや町内会回覧等で計画的・効果的に発信。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> 公開により第三者が関わることで、授業内容や指導方法の改善が図られる。 保護者や地域住民の学校教育への理解・関心の深まりと、支援や協力が期待できる。 					
事業推進上の課題	ホームページの更新頻度や内容が、学校ごとに異なる。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業の実施 市教委・学校が連携したHPの周知 町内会回覧等を活用した地域住民への周知 					
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページを積極的に活用し、全校で定期的な更新を実施する。 ホームページや町内会回覧等による学校だよりの公開を継続する。 					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連																																				
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策																																		
	II	C	1	IV	17	2																																		
事業目標	市立図書館や学校図書館を活用した調べ学習を推進し、児童生徒の自ら学ぶ力の育成を目指す。																																							
事業概要	<p>調べる学習地域コンクールの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生対象に実施。 ・作品テーマは自由に設定。 ・作品の規格は、小学生はB4判、中学生はA4判で各50ページ以内。 ・学校図書館、市立図書館等を活用。 ・市内コンクールの実施及び全国コンクールへの出品。 																																							
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が自ら課題を設定することにより、思考力・判断力・表現力の向上が図られ、感性や創造力を生かした表現活動の充実が期待できる。 ・学校図書館及び市立図書館の活用により児童生徒の主体的な学ぶ力の育成と読書意欲の向上が期待できる。 																																							
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校と連携し、児童生徒の調べ学習への指導及び協力を依頼するとともに、学校司書から児童生徒へ作品制作の指導やアドバイスの充実、保護者への児童生徒のコンクール参加の周知を行うことが課題である。 ・市立図書館の調べる学習サポーターや教師や学校司書の指導により作品の質の向上を図り、全国コンクールでの入賞を目指す。 																																							
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																			
	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;">市内コンクール</div> 																																							
特記事項	<p>【これまでの実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学生</th> <th colspan="2">中学生</th> </tr> <tr> <th>作品数</th> <th>参加者数</th> <th>作品数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度(第7回)</td> <td>269</td> <td>270</td> <td>192</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>平成29年度(第8回)</td> <td>210</td> <td>211</td> <td>233</td> <td>283</td> </tr> <tr> <td>平成30年度(第9回)</td> <td>196</td> <td>197</td> <td>332</td> <td>385</td> </tr> <tr> <td>令和元年度(第10回)</td> <td>182</td> <td>182</td> <td>250</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>令和2年度(第11回)</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため作品応募方法等を変更</p>							小学生		中学生		作品数	参加者数	作品数	参加者数	平成28年度(第7回)	269	270	192	238	平成29年度(第8回)	210	211	233	283	平成30年度(第9回)	196	197	332	385	令和元年度(第10回)	182	182	250	276	令和2年度(第11回)	9	9	9	9
	小学生		中学生																																					
	作品数	参加者数	作品数	参加者数																																				
平成28年度(第7回)	269	270	192	238																																				
平成29年度(第8回)	210	211	233	283																																				
平成30年度(第9回)	196	197	332	385																																				
令和元年度(第10回)	182	182	250	276																																				
令和2年度(第11回)	9	9	9	9																																				
令和7年度末までの具体目標	全小中学校からの作品応募と、児童生徒1割の参加を目指す。																																							

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	II	C	2	IV	16	2
事業目標	子どもたちが気軽に参加できる理科の実験・観察事業を開催し、理科学習への興味関心を高める。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「えにわ子ども塾」事業における理科実験・自然体験活動の開催。 ・理科教育センターと連携した体験学習の推進。 					
事業推進による効果	学校で体験することのない理科の実験・観察を体験することで楽しさや興味関心が高まれば、学習意欲の向上にも期待ができる。					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの理科への興味関心が高まる事業内容の工夫。 ・学校との連携。 					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px;"> 全国学力・学習状況調査(理科) ・調査結果の評価 </div>				
						
特記事項	【令和4年度】 ○全国学力・学習状況調査 ・理科の実施（3年に一度実施）					
令和7年度末までの具体目標	前回調査での評価を上回るよう、事業の推進を図る。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	II	C	3	IV	16	2
事業目標	将来を見通したキャリア意識の醸成や、高速大容量の通信環境及び機器更新の計画的な整備・活用による情報活用能力の育成を図る。					
事業概要	<p>キャリアパスポートの活用により、児童生徒の社会的自立を目指し、キャリア発達を促す。</p> <p>また、これまでの学習環境の整備に加え、教育の情報化推進により広がるICTの活用に対応する環境整備を計画的に実施するとともに、学習の基盤となる資質である情報モラルを含む情報活用能力を育成する授業づくりのための取組を進める。</p>					
事業推進による効果	将来を見通したキャリア教育、及び持続可能なICT環境整備により、授業改善の取組が推進され、「主体的・対話的で深い学び」を推進する。					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に係る学校間の意識の違い ・高速大容量の通信環境及び機器更新の計画的な整備 ・授業改善方法等の取組体制の持続 					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	○GIGAスクール端末活用					
	継続	残り1/3導入	継続			
	○電子黒板活用★電子黒板用PC					
	★恵み野旭小	★恵庭小	★島松小 ★松恵小 ★柏小 ★恵み野小	★和光小 ★若草小	継続	
○指導者用デジタル教科書活用						
小学校主要5教科			デジタル教科書更新	継続		
中学校主要5教科				デジタル教科書更新	継続	
○学習者用デジタル教科書実証事業						
キャリア教育、ICT教育の充実	継続					
特記事項	<p>【令和元年度】電子黒板導入完了（更新は令和8年度から）</p> <p>【令和2年度】</p> <p>小学校指導者用デジタル教科書主要5教科導入完了（令和2-5年度版）</p> <p>中学校指導者用デジタル教科書主要5教科導入完了（令和3-6年度版）</p> <p>1人1台端末全児童生徒2/3台導入</p> <p>※GIGAスクール構想1人1台端末＝令和4年度までの完了（文部科学省）</p>					
令和7年度末までの具体目標	キャリア教育やICT教育により、児童生徒が将来につながるために必要な力を養う。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅲ	A	1	Ⅳ	16	2
事業目標	いじめ防止基本方針に基づき、いじめに関する実態を把握し、いじめ根絶に向けた効果的な取組を推進する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> いじめの把握のためのアンケート調査の実施・分析。 校内いじめ問題対策委員会による、いじめ問題の早期解決。 スクールソーシャルワーカー等と連携した、いじめ問題の早期解決。 					
事業推進による効果	いじめ問題の実態を把握することにより、早期発見・早期対応につなげることができる。					
事業推進上の課題	アンケート調査に正直に回答できるような工夫や方策について、検討する必要がある。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> アンケート調査 ↓ 分析 ↓ 校内いじめ問題 対策委員会 ↓ ケース会議 </div>					
特記事項	【調査時期】					
	調査の名称		時期	調査内容		
	いじめの把握のためのアンケート調査		6月、11月	アンケートの実施		
	いじめの問題への対応状況の調査		6月、9月、11月	認知した案件に対する対応の調査		
いじめの問題の取組についての調査		5月、12月	学校で実施している取組の調査			
令和7年度末までの具体目標						

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅲ	A	2	Ⅳ	16	2
事業目標	校内いじめ問題対策委員会を適切に機能させて、いじめ問題の根絶にあたる。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校のいじめ防止基本方針に基づく年間計画の作成。 ・「いじめ問題の具体的取組」を毎年度提出する。 ・いじめ問題にかかるアンケート調査結果を踏まえ、いじめが生じたときは迅速に、校内いじめ問題対策委員会及び関係機関による組織的な対応を実施する。 ・いじめ問題対策委員会を中心に校内研修を実施することにより、教職員の指導力の向上を図る。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめが生じた場合に学級担任等が個々に取り組むのではなく、組織的に対応することで、早期発見、早期対応が図られる。 ・いじめに対する生徒指導力の向上が図られる。 					
事業推進上の課題	いじめは個々に取り組むものではないため、共通理解が求められることから定期的な情報交換を行うことが課題である。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	「いじめ問題の具体的取組」の提出 ・5月中旬 提出(各学校) ・5月下旬 取り纏め、各学校へ周知(市教委)					
特記事項	「恵庭市いじめ防止基本方針」平成26年度に策定し、平成30年度に改正を実施					
令和7年度末までの具体目標						

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅲ	A	3	Ⅳ	16	2
事業目標	各学校の児童会・生徒会代表等が集い、いじめ問題について情報交換や意見交換を行い、いじめ根絶に向けた取組の充実を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題の現状や課題、いじめ防止についての意見交流を推進する。 全市交流会を踏まえた各学校によるいじめ防止活動を推進する。 全市交流会での情報を組織還元し、各学校の取組の充実を図る。 					
事業推進による効果	児童生徒自ら互いにいじめに関する見方や考え方を交流し合うことにより、各学校での取組の一層の推進が期待できる。					
事業推進上の課題	交流会は、一部の代表児童生徒の参加だけで実施しているため、各学校での交流会の情報を還元した成果の把握方法を検討する必要がある。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 全市交流会の効果的な仕組みづくりの検討 </div>					
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 各学校でのいじめ根絶集会の実施 </div>					
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	全市交流会での情報の組織還元の方法を検討し実施する。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連			
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策	
	Ⅲ	B	1	Ⅳ	14	3	
事業目標	子どもたちの豊かな心を育み、良好な人間関係を築くために、様々な体験活動の場を提供して、コミュニケーション力の向上を図る。						
事業概要	子どもたちがより良い人間関係を築く上で大切な、コミュニケーション力や人間関係力を高める取組を実施。						
事業推進による効果	① 自らが心開いて他者と向き合い、共に受け入れられることを体感できる。 ② 社会の中で、他者と協力して生きる力を養うことができる。						
事業推進上の課題	① 専門的な指導者を確保することが課題である。 ② 「赤ちゃん登校日」の参加乳幼児家庭の確保が課題である。						
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	ヒューマン・コミュニケーション授業	継続					
	「赤ちゃん登校日」の実施	継続					
特記事項	【令和元年度】 ・ 「赤ちゃん登校日」の実施（柏陽中学校） ・ ヒューマン・コミュニケーション授業実施（柏陽中・恵北中・若草小） ・ ヒューマン・コミュニケーション講座実施（教職員対象）						
令和7年度末までの具体目標	これまで重点的に実施してきた推進校の取組を基に、市内全小中学校によるヒューマン・コミュニケーション授業の実施を目指す。						

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅲ	B	2	Ⅳ	16	2
事業目標	<p>児童生徒の読書活動、学習活動及び教職員の教育活動を支援するため市立図書館と学校との連携を強化し、学校図書館の整備充実を図り、学校での朝読書を推進するとともに、家族で好きな本を読み、語り合う「家読」を推進することにより、読書習慣の形成と読書を通じた家族のコミュニケーションの促進を目指す。</p>					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な学校図書館図書整備の推進。 ・ 小・中学校に配置した学校司書を中心とした、児童生徒が本に親しめる学校図書館の環境整備。 ・ 学校図書館配本システムによる図書の効果的活用。 ・ 全小中学校での朝読の推進とともに、地域・家庭・学校との連携による、家庭読書の推進。 ・ 家読事業の周知活動の推進。 ・ 学校図書館全体計画の策定。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館環境整備及び読書活動の充実を図り、市立図書館との連携による学校図書館配本システムによる図書の効果的活用をすることで、児童生徒の読書活動が充実し、学習意欲が高まり、学ぶ力の向上が期待できる。 ・ 朝読・家読を推進することにより読書習慣が身につき、学校や家庭での生活リズムが形成され、児童生徒に豊かな心を育む教育の推進が育まれる。 					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べ学習や教科の学習に対応できる図書の計画的な整備を行うことが課題である。 ・ 朝読・家読の効果周知により児童生徒の読書習慣を形成することが課題である。 					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	学校司書との連携	学校司書交流による活動の改善				
	学校図書館の充実	図書の整備・学校図書館の環境整備の継続				
	朝読・家読	小中学校との連携による朝読・家読の推進				
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	「読書が好きな児童生徒の割合」を85%まで増加。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅲ	B	3	Ⅳ	15	1
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、共同生活や体験活動を通じ、自立心や忍耐力、協調性、社会性を身につけ、生活力の向上を図るとともに、異学年の子どもや地域の方々と交流を深めることで、地域コミュニティの活性化を図る。 地域住民による実行委員会を組織して運営を進めることにより、「地域の子どもは地域で育てる」意識を醸成し、地域の教育力の向上を図る。 					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 通学合宿 <ul style="list-style-type: none"> ○生活体験活動（炊事・清掃・買い物など） ○登校・下校・学習準備・日常の学習（宿題・家庭学習など） ○班活動（夕食の献立作り、ふりかえり） ○その他（朝の体操、銭湯入浴、もらい湯など） 体験事業 <ul style="list-style-type: none"> ○地域の特色を活かした体験事業など 					
事業推進による効果	子どもたち一人ひとりに地域の一員としての自覚が育つとともに、地域の方々が協力して実施することにより地域コミュニティの形成が期待できる。					
事業推進上の課題	高齢化等のため、地域の担い手の減少により、運営者の負担が増えていることから、事業継続のため新たな担い手の確保が課題となっている。また、新型コロナウイルスの影響により、宿泊を伴う事業の実施が困難となっている。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	通学合宿・体験事業 	支援・人材育成				
	通学合宿等助成金の日帰り事業への拡充 	実施		検証・あり方の検討	実施	
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	各実施地区の情報を共有できる機会をつくり、つながることで課題解決や人材育成の体制づくりを行う。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅲ	C	1	Ⅳ	16	2
事業目標	児童生徒の臨床心理に関する専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラーを配置し、不登校・ひきこもり等に関する教育相談体制の充実や教職員等の資質向上を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の児童生徒、教職員、保護者等への相談活動。 ・家庭訪問等による引きこもり児童生徒への支援。 ・教職員、保護者等に対する研修会の実施。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の様々ないじめや不登校など問題行動の早期発見・早期対応・未然防止が期待できる。 ・教職員の資質の向上が図られる。 					
事業推進上の課題	効果的な教育相談を実施するため、関係機関との連携体制を強化する必要性がある。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
特記事項	<p>【令和2年度】</p> <p>○スクールカウンセラー活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のカウンセラー： 小学校 8校、中学校 2校 ・道派遣のカウンセラー（3名）： 中学校 3校 					
令和7年度末までの具体目標	教職員、保護者等に対する研修会を計画的に実施する。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅲ	C	2	Ⅳ	16	2
事業目標	不登校の児童生徒に対して、個々の状況に応じた学習指導や教育相談を行い、基本的な生活習慣や社会で生活していくうえでの力を身に付け、一日でも早く学校復帰できるように支援する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学習、運動、読書活動の支援。 ・体験活動（農業体験、もちつき大会、社会見学）。 ・他市町村との交流事業（ミニバレーボール大会、百人一首等）。 					
事業推進による効果	個々の状況に応じた支援を行うことにより、早期の学校復帰が期待できる。					
事業推進上の課題	利用者の増加に伴う指導体制の検討。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
特記事項	【令和元年度】 ○登録者の状況 ・小学生 5名 ・中学生 22名					
令和7年度末までの具体目標	利用者の増加に伴う指導体制を検討する。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	Ⅲ	C	3	Ⅳ	16	2
事業目標	スクールソーシャルワーカー（SSW）の体制を強化し、いじめや不登校等、児童生徒の指導上の課題に対して、学校や関係機関と連携し、早期解決を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、SSW連携担当者との連携及び支援。 ・児童生徒、保護者の課題解決に向けた支援。 ・関係機関等との連携・調整。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等が課題を共有することにより、解決策が具体化でき児童生徒や家庭のニーズに応じた支援を行うことができる。 ・課題解決に向けた支援を行うことにより、速やかに問題解決を行うことが期待できる。 					
事業推進上の課題	学校と連携した初期対応を速やかに実施して、複雑化・長期化しないようにすることが課題である。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	課題解決に向けた指導・助言 SSW連携担当者との連携の強化					
特記事項	【SSW連携担当者】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度より各校で選任 ・令和2年度よりSSW連携担当者会議を開催し各校の情報交換等を実施 					
令和7年度末までの具体目標	各校のSSW連携担当者との連携体制を整備する。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連			
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策	
	IV	A	1	IV	16	2	
事業目標	各学校において体力運動能力の実態を把握するとともに、1校1実践を推進し、運動能力の向上並びに運動に対する意欲の向上を目指す。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・体力・運動能力、運動習慣等調査及び、新体力テストを用いて全学年の実態を把握する。 ・学力・体力向上推進会議を開催し、専門家の意見を取り入れ、体力向上につなげる。 ・外部指導者等との連携により、運動に対する興味、意欲の向上や、教職員の指導方法等の向上につなげる。 						
事業推進による効果	子どもたちが運動に取り組むことで、健やかで健全な育成と体力向上が図られる。						
事業推進上の課題	発達段階に応じた体力の強化を図っていくことが課題である。						
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	体力向上プランの作成	継続					
	学力・体力向上推進会議の開催	継続					
	外部指導者との連携推進	継続					
特記事項	外部指導者については、総合型地域スポーツクラブであるハイテクACアカデミーによる体育授業支援が実施されている。						
令和7年度末までの具体目標	1校1実践を含め、各学校でテーマを決めた体力づくりを推進する。						

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	IV	A	2	IV	16	2
事業目標	家庭・学校・地域が連携して、歩くことを基本としながら子どもたちの運動習慣の定着に向けた取組を推進する。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 各学校における1校1実践の取組を推進。 市PTA連合会などと連携して、運動習慣づくりを推進。 家庭でも継続して実施できる取組を奨励し、運動習慣づくりを推進。 					
事業推進による効果	基礎体力は、日常的運動習慣を確立することが極めて重要であり、歩くことをはじめとした運動習慣づくりを進めることにより、子どもたちの健やかで健全な育成と体力向上が図られる。					
事業推進上の課題	家庭・学校・地域がどの様に連携して、効果的で実効性のある取組を実施していくかが課題である。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 1校1実践の取組 家庭・学校・地域による取組 どさん子元気アップチャレンジへ参加促進 					
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえ、家庭・学校・地域が連携して日常的な運動習慣の向上に向けた取組を実践する。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	IV	A	3	IV	16	2
事業目標	<p>小学校の体育授業において、市内の専門団体（総合型地域スポーツクラブ）から指導を受けることにより、児童の体力・実技力の向上、及び教員の指導力の向上を図る。</p> <p>中学校の部活動においては、部活動指導員の配置等による競技の専門的な指導を受ける機会の創出、及び部活動に係る教員の負担軽減を図る。</p>					
事業概要	<p>総合型地域スポーツクラブ「北海道ハイテクACアカデミー」の指導員が、小学校の体育授業において「走り方」「器械体操」等を指導。</p> <p>市で任用した部活動指導員の配置や学校で依頼している外部指導者が、競技における専門的指導を実施し技術や精神面での向上を図り、部活動の充実及び教員の部活動における負担の軽減を図る。</p>					
事業推進による効果	<p>外部指導者から指導を受けることにより、児童の体力・実技力の向上、教員の指導力の向上、生徒の部活動における競技力向上、及び部活動における負担軽減を図る。</p>					
事業推進上の課題	<p>児童の体力・実技力の向上、及び教員の指導力の向上を図るための、効果的な実施内容・実施方法・回数等についての更なる検討が必要。</p> <p>恵庭市における部活動の在り方を検討し、地域移行・合同部活動などを協議していく必要がある。</p>					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	体育授業支援事業の実施	継続				
	学力・体力向上推進会議での検証	継続				
	部活動指導員の配置	継続				
	部活動の地域移行等の検討	継続				
特記事項						
令和7年度末までの具体目標	<p>総合型地域スポーツクラブとの連携を踏まえた、児童生徒の体力・技術力の向上、教員の指導力向上を図り、地域での部活動の在り方に関する計画を策定する。</p>					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	IV	B	1	IV	16	2
事業目標	<p>飲酒や喫煙、薬物乱用等、非行に関する正しい知識を身に付けるとともに、適切な判断や行動ができる力の育成を目指した薬物乱用防止教室等を実施し、児童生徒の健全育成を図る。</p>					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 千歳警察署等の関係機関と連携し、薬物乱用防止教室等を全小中学校で実施。 非行防止啓発資料の配布等、児童生徒及び保護者への啓発活動を推進。 					
事業推進による効果	<p>飲酒や喫煙、薬物乱用の有害性・危険性を知ること、非行を未然に防止し、自らの健康を保持増進する意識の醸成が図られる。</p>					
事業推進上の課題	<p>児童生徒の発達段階を踏まえ、飲酒や喫煙、薬物乱用の有害性・危険性の啓発を継続的に行うことが課題である。</p>					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<p>関係機関と連携して薬物乱用防止教室等を小中学校で開催</p> <p>教科における指導 小学校:体育 中学校:保健体育</p>					
特記事項	<p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道警察千歳警察署 恵庭ライオンズクラブ 北海道千歳保健所 恵庭市薬剤師会 恵庭市生徒指導協議会 					
令和7年度末までの具体目標	<p>保健体育等の授業による指導と併せて、薬物乱用防止教室の継続的な実施により、児童生徒の非行件数を減少させる。</p>					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	IV	B	2	IV	16	2
事業目標	計画的な施設・設備、厨房機器の更新整備を行い衛生管理の徹底と職員の健康管理を図り、食中毒の発生や異物混入の未然防止に努め、新鮮で安全・安心な地場産食材の活用を進め、栄養バランスのとれた、よりおいしい給食の提供と食物アレルギー児童生徒への対応食の充実を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の整備及び衛生管理の徹底。 ・地場産食材の活用。 ・食物アレルギー対応。 					
事業推進による効果	地場産食材を活用した学校給食を提供することにより健全な食生活の推進と地産地消への理解が図られる。					
事業推進上の課題	安全安心な給食の提供をするために施設・設備の更新等を計画的に行う必要があるが、給食センター施設の老朽化により建て替えが検討されていることから更新等ができないため、故障等の場合は修繕しながらの対応となっている。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	整備及び衛生管理の徹底	→ 継続				
	地場産食材の活用	→ 継続				
	食物アレルギー対応	→ 継続				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設・設備の整備及び衛生管理の徹底。 「学校給食センター整備計画書」による計画的な施設・設備の更新及び職員の衛生検査と調理作業の点検確認の実施。 ・地場産食材の活用。 地場産品を活用した料理や家庭で不足しやすい食品を使った料理教室の開催。 ・食物アレルギー対応 学校給食における食物アレルギーの未然防止を図る。 					
令和7年度末までの具体目標	地場産食材の活用と安全な食材の提供に努め、地場産食材の使用率を「第3次恵庭市食育推進計画」の目標である30%以上を目指す。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	IV	B	3	IV	16	2
事業目標	「フッ化物洗口」を推進することにより、基本的な生活習慣の確立に加え、児童生徒の歯の健康維持を目指す。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 虫歯リスクが高い小学生に対し、普段の歯磨きや早寝早起きといった生活習慣の改善指導。 「フッ化物洗口」を実施することで、衛生的な口内環境を維持し、健康的な児童の育成。 					
事業推進による効果	<ul style="list-style-type: none"> 「フッ化物洗口」の実施による虫歯リスクの軽減 生活習慣の改善指導による児童の健全育成 					
事業推進上の課題	「フッ化物洗口」への保護者の理解					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	「フッ化物洗口」の実施	→ 継続				
	生活習慣の改善指導	→ 継続				
特記事項	<p>令和元年度実施率：89.7%</p> <p>※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施</p>					
令和7年度末までの具体目標	「フッ化物洗口」の実施希望者の増加により、市内全校の虫歯リスクの低下を図る。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	IV	C	1	IV	16	2
事業目標	子どもたち自身の安全安心に関わる意識及び課題解決能力の育成を目指し、子どもたちの自己防衛力の向上を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は、北海道CAPをすすめる会による参加型体験学習のワークショップを実施。 ・中学校は、非行防止教室等を実施。 ・小学校新1年生に防犯ブザーを配付。 					
事業推進による効果	子どもたち一人ひとりが安全安心に関する参加体験学習を行うことにより、様々なトラブルから未然に自分自身の身を守る力を養うことが期待できる。					
事業推進上の課題	体験学習の成果を活かすことが課題である。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	小学校でCAP教育ワークショップの実施 中学校で非行防止教室等の実施					
特記事項	【令和2年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・CAP教育プログラムワークショップの実施 (子どもワーク、保護者ワーク、教職員ワーク) 対象 小学校8校 (対象：小学3年生) ※コロナウイルス感染症対策により未実施 ・防犯ブザーの配付 小学校新1年生 623名 					
令和7年度末までの具体目標	自己防衛力向上事業の検証を行う。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	IV	C	2	IV	16	2
事業目標	学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで児童生徒の登下校等における安全の確保を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路巡回指導（スクールガードリーダーの通学路の巡回指導）。 ・恵庭市通学路安全推進会議の開催、合同点検の実施。 ・不審者情報の提供（メール配信など）。 ・こどもセーフティハウスの啓発及び拡大。 ・地域、少年補導員、生徒指導協議会など関係機関との連携強化。 					
事業推進による効果	児童生徒の登下校時の安全確保が図られる。					
事業推進上の課題	下校時における見守り活動体制強化が課題である。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	通学路の巡回指導	→ 継続				
	①恵庭市通学路安全推進会議の開催 ②合同点検の実施	→ 継続				
特記事項	【令和2年度】 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもセーフティハウス登録件数：事業所170件、個人142件 ・メール配信登録者数：1,789件 					
令和7年度末までの具体目標	こどもセーフティハウス登録件数の増加を図る。					

シート番号	第3次教育推進プログラム			総合計画との関連		
	目標	主要施策	施策の方向	基本目標	目標	重点施策
	IV	C	3	IV	16	2
事業目標	ネットパトロールの活用やフィルタリングの啓発等により、子どもにとって安心安全なネット環境の整備を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対する情報モラルの指導。 ・ネットパトロールに関する学校への情報提供。 ・学校やPTAなど関係機関と連携した取組の推進。 ・絆づくりメッセージコンクール(ポスター・標語)への参加促進。 					
事業推進による効果	インターネット上のトラブルを未然に防止することにより、有害情報から児童生徒を保護することが期待できる。					
事業推進上の課題	インターネット環境の変化が著しい等、新たな課題への的確な対応が課題である。					
スケジュール	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">学校とPTAなど関係機関と連携・協議</div> 					
特記事項	【令和2年度】 ・絆づくりメッセージコンクール(ポスター・標語)の参加：283件					
令和7年度末までの具体目標	絆づくりメッセージコンクールへの参加者の増加を図る。					